

2017年3月27日

<報道関係各位>

一般社団法人日本化学工業協会

日本毒性学会 第3回 日化協LRI賞 研究受賞者決定

一般社団法人日本化学工業協会（住所：東京都中央区、会長：石飛 修（住友化学㈱会長）、以下「日化協」）は、日化協LRI[※]での研究者奨励（育成）の一環として、“化学物質が人の健康や環境に与える影響”に関する優れた研究業績をあげた研究者を表彰する「日化協 LRI 賞」を、日本毒性学会（理事長：永沼章）内に設立しています。このたび第3回目の受賞者を次のとおり決定いたしました。

※LRI：Long-range Research Initiative = 長期自主研究活動

審査については、昨年9月から12月末にかけて、日本毒性学会ホームページ上で募集を行い、日本毒性学会内の日化協LRI賞選考小委員会において厳正なる選考を行っていただきました。この結果、推薦をいただいた受賞者1件について、日化協として正式に承認いたしました。



[受賞者] 吉成 浩一（よしなりこういち）
静岡県立大学薬学部 教授

[テーマ] 薬物代謝及び核内受容体研究を基盤とした化学物質の肝毒性発現機序
解明と評価予測系開発

[受賞理由]

化学物質の代謝は、毒性発現の組織や毒性の強度、種差・個体差等を決定する主要な因子であり、代謝を理解することは化学物質の安全性の評価・予測において非常に重要です。受賞者は、代謝研究を通じて、化学物質の生体影響の評価や毒性発現機序解明における優れた研究成果を挙げ、それをもとに独創的なアイデアに基づいた新規毒性予測手法・動物実験代替法に取り組んできました。また、LRIテーマとしても採択された実績がありLRIの発展におおいに貢献してきた他、毒性学会においても各種委員を歴任し貢献されています。

なお、授賞式は7月10日～12日に横浜で行われる第44回日本毒性学会学術年会において執り行われます。

LRIは、国際化学工業協会協議会（ICCA）に加盟している欧州化学工業連盟、米国化学工業協会および日化協の3つの団体によって1999年より運営されているグローバルプログラムであり、化学物質の安全性を向上させ、不確実性を低減させることを目的に、“化学物質が人の健康や環境に与える影響”に関する研究を長期的に支援している自主活動です。日化協では2000年よりLRIを通じた研究支援を行っています。「日化協 LRI 賞」は、LRIの認知拡大および理解促進を図るとともに、同分野の優れた若手の研究者および世界をリードするような新しい研究分野を発掘することを目指して設立いたしました。

以 上

<<本件に関するお問い合わせ先>>

報道関係の方：一般社団法人日本化学工業協会

その他の方：

広報部 松本 TEL:03-3297-2555

化学品管理部 石井 TEL:03-3297-2575